

水辺の楽校活用協議会

●「水辺の楽校活用協議会」って？

水辺の楽校活用協議会は、「水辺の楽校つまりっ子ひろば」の維持管理や運営、活用方法を検討する団体です。協議会では、私たちの母なる大河信濃川を体験学習の場として、大人も子どもも最も身近な自然として接することができるよう、「水辺の楽校（生物観察会）」を開催しています。



●「つまりっ子ひろば」を利用される皆さんへ

つまりっ子ひろばに生息する貴重な生物を保護するため、河川生態系の維持のために、外来種（アレチウリ）の駆除活動やゴミ拾いをはじめとする環境美化活動や、ミヤマシジミの食草であるコマツナギを保護し増やす活動を続けています。



このガイドは、植物編、昆虫編、野鳥編、水生生物編に、その他の信濃川の生き物や岩石を加えて、総合ガイドとして編集しました。

編集委員：高橋勝芳・野上ナオ（植物）、
樋熊清治（昆虫・生き物）、
影山裕一（水生生物）、
高橋洋一（魚類）、
古沢昭三（野鳥）・黒島善助（野鳥写真）
喜多孝行（岩石）、

事務局：十日町市克雪維持課

発行：水辺の楽校活用協議会
監修：樋熊清治（信濃川河川環境保全モニター）
協力：国土交通省信濃川河川事務所
十日町市立理科教育センター
十日町市博物館友の会植物グループ
十日町野鳥の会

●このガイドは、財団法人河川環境管理財団の河川整備基金〔16-3-1〕-6号〕によって助成されたものです。
●2006年5月発行

※表紙写真／十日町市下条栄橋より下流を望む（2002年7月撮影）